

はぎやま

令和六年九月二十九日発行

第一五六号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町一・三七・一

☎〇四一(三四二)六〇一一

心を育み、見つめ直す

萩山実務学校 管理課長

木々に囲まれた萩山実務学校に着任してから、早くも半年が過ぎようとしています。この間、正門から管理棟までの通りには季節の移ろいに合わせて、サクラ、ツツジ、アジサイが花を咲かせてきました。この原稿を書いている時点（九月初旬）では、サルスベリがピンクの愛らしい花を次々と咲かせて暑さを和らげてくれています。

思春期と誕生祝

萩山のアジサイは鮮やかな青が多く「萩山ブルー」とでも呼ぶべき風景でしたが、その奥には明るい青の屋根と白く塗られた壁の外観が一際輝きを放つ「百周年記念館」があります。当施設が井の頭恩賜公園の一角から萩山の地に移転した時から現存する唯一の建物であり、現在も入学式をはじめ保護者クラブ参観、研修など様々な場面で活躍しています。中でも月例行事の一つ「誕生祝」で

は、誕生月となる児童一人ひとりが壇上で「萩山で頑張りたいこと」を発表しています。「いつでも前向きに生活する」、「対人関係を学ぶ」、「希望の高校に入れるよう頑張る」など、これまでの自己を見つめ、今と未来の自己のあり方を思考してきたことを感じる、とても大切な時間になっています。

生活につなげる

七月中旬、会津高原と尾瀬沼において夏の恒例行事である林間教育を実施しました。今年七月の月平均気温は観測史上最も高かったそうですが、林間教育中は曇りの天候が幸いし過ごしやすかったようです。児童の感想文を読むと、「ニッコウキスゲの大群落が美しいカーペットのようだった」そうで、大自然を満喫できたことを感じました。また、「皆で何かを協力して成し遂げることは、とても楽しい」、「未来を決めるのは、今の自分の行動」など、琴線に触れる言葉に数多く出会い、児童の変化や成長を感じ取ることが出来ました。

パリ2024オリンピックの熱い戦いの余韻が冷めやらぬ八月中旬には、夏祭りを開催しました。伝統あるブラスバンド部によるY O A S O B I「アイドル」の演奏からスタートし、模擬店の運営や盆踊りなど児童の生き生きとした表情が眩しく、楽しいひとときになったのではないかと思います。様々な行事での変化や成長を、その後の生活にもつなげていければと思います。

総合防災訓練と改築工事

十一月になりますが、総合防災訓練を予定しています。当施設は東村山市における「いつとき集合場所」として、地域の皆様にも可能な限りご参加いただきながら命を守る訓練を実施してまいります。

それから全体改築工事についてお知らせします。今年二月には新グラウンド工事が完了し、現在は来年に予定している児童指導棟や厚生棟などの解体工事に向けて準備を進めています。施工業者や工事の詳細が決まりましたらお知らせいたします。

安心感を高め、対話を重ねる

当施設が萩山の地に移転してから八十五年目を迎えました。関係機関や地域の皆様には、戦前から今日に至るまでの長きにわたり施設へのご理解とご支援に、心から感謝を申し上げます。また、東村山市教育委員会のご理解のもと敷地内に東村山第三中学校萩山分校を開設し、福祉と教育との緊密な連携を図りながら、児童の安心感を高め、社会的自立に向けた支援を行ってきています。

今年も人権学習として中学三年生と高等部の児童が国立ハンセン病資料館を見学しました。「歴史に関する正しい知識」を学び、心を育む実践になったと強く感じています。過去を忘れずに、広く物事を見渡しながら未来を築いてほしいと思います。時代の変化に伴って入所児童の状況や支援内容も変化しています。児童との対話を重ねながら、児童の自立と明るい未来に向けて、今後とも皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

入学式

六月十八日に中学一年生の入学式が行われました。

子供たちは、制服に身を包み、緊張しながらも式に臨んでいました。

式後には、入学式の練習や本番で頑張った事やこれから挑戦してみたいことなどを書いてもらいました。

二寮 Mさん

入学式では先生からアドバイスをいただき、その通りに行くことができました。そして、クラブ活動やテスト、行事などを頑張りたいです。

さくら寮 Sさん

練習から本番まできよきよと周りを見ないように意識しました。そして、クラブ活動では、自分が担当する楽器を頑張りたいです。入学式を終えて「中学生になったんだ。」と実感しました。



春の全校遠足

六月十二日に全校遠足に行きました。

一寮 Kさん

遠足ではみんなと協力して昼食を作れたという実感がわきました。一人一人の頑張りが美味しい昼食になったと思います。この先にも活かせる経験をしました。また、みんなで昼食を作った後も協力してテントをたたきました。

その後、河原遊びをしました。川にはメダカやカエルがいました。思ったより川の水が冷たくて肌寒かったけれど、とても楽しい思い出になりました。

この遠足で学んだことは、みんなと協力することです。みんなで作ってみんなで食べたご飯、とくに飯盒で炊いたご飯はとても美味しかったです。

六寮 Tさん

僕が頑張ったことは、自分が任された当番をしっかりと行ったことです。最初は火起こしをしました。木材などがしっかりと燃えるように二つに折ったりそれを火が通るように並べたりと色々と工夫をしました。

次に焼きそばを作りました。「野菜が全部しっかり焼けているのか」、「均等に配膳ができているか」、「みんながおいしと思えるように作れたか」などと少し不安もありましたが、しっかりと役割を果たせました。

そして、このことから学んだのは料理をする「難しさ」と大変さです。いつもは調理の先生が作ってくださったものをいただいています。今回は最初から最後まで自分たちで行いました。

毎日、自分たちのためにおいしい料理を作ってくれている方々に対して、改めて尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからは、もっと感謝をして食べようと思えました。

それから楽しかったのは河原遊びです。川に潜って遊んだことはありましたが、今回は、生き物を探すなどまた違った遊び方があるのだと思えました。いろいろな生き物に出会えて楽しかったです。



さくら寮 Mさん

寮のみんなと遠足の準備をしているときから楽しくて、夜もあまり眠れませんでした。

落合キャンプ場に着いた時、まず驚いたのが転ぶんじゃないかと思うくらい道が急だったことです。ご飯を食べる場所に移動したらまず役割分担をしました。私はお米研ぎ係とウインナーを焼く係でした。内容は、お米を研ぐ、ウインナーを焼くことでした。

食べ物を炒めるとき、煙が目に入ると涙と鼻水が止まりませんでした。でも、みんなと協力して作ったご飯はとても美味しかったです。その中で一番美味しかったのは「カルピ井」でした。食後は川で冷やしたスイカを食べました。冷たくて美味しかったです。片付けもみんなと協力してやりました。

その後、待ちに待った河原遊びをしました。河原遊びでは寮の人たちや先生方と水遊びをしました。お約束のネタなどがありすごく楽しかったです。いろいろな行事を経験してたくさん成長できて心に余裕を持つことが出来ました。

だから今回の遠足も「やる時はやる、楽しむときは楽しむ、切り替えを大事に過ごすことが出来ました。次の行事も楽しみたいです。」



関東少年野球大会

三寮 Yさん

僕が関東少年野球大会を通して感じたことは三つあります。

一つ目は、野球をする楽しさです。試合に出て、打ったり、投げたり、走ったり、そして、応援したりすることの楽しさに気づけたので、一生懸命プレーすることが出来ました。

二つ目は、協力してくださった方々です。この大会に出場するにあたって、準備して下さった寮の先生や分校の先生など、自分たちが野球の試合をやる事が出来たのはそ

ういった方々のおかげだと思います。なので、これからも感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

三つ目は、達成感です。他の仲間と協力して野球をすることが出来て互いに声を掛け合って、笑顔で終われてよかったです。

最後に僕は関東少年野球大会で多くのことを学びました。勝ち負けだけが勝負ではないとも感じました。僕は、この大会を通して学べたことを、これからの生活に活かしていきたいなと思いました。



和菓子俳句

中学三年生は、毎年、国語の授業の中で「和菓子俳句」に挑戦しています。季節の和菓子を風物に見立てて、それぞれ俳句を一句詠みました。その一部を紹介させていただきます

一寮 Tさん
ほたる狩り 雨の雫も 輝いて

さくら寮 Iさん

ゆらゆらり 水面によぎる 鮎の影

かしわ寮 Nさん

撫子や 河原で始まる 今日朝



林間教育

七月十六日から七月十八日まで会津高原と尾瀬沼に林間教育に行きました。

(感想文より抜粋)

かしわ寮 Sさん

三日間林間教育に行ってみて、萩山より大自然な場所や、公共のマネーなどいつもとは違う場所での生活はすごく大変でしたが「大変」よりも「楽しい」気持ちになりました。

福島県は、景色がきれいで空気が澄んでいて素敵な場所でした。演芸会では他の寮も面白かったのですが、私たちの寮も大成功に終わりました。

ハイキングでは森林を歩きトンボやリスがいました。ホテルから見た花火もきれいでした。

本当に心から楽しいと思うことがたくさんありました。また次に行くときはもつと学んで楽しみたいです。



二寮 Fさん

尾瀬をハイキングしているとき雨が止み、涼しく歩きやすい天気になりました。また時折、日が差すと濡れた葉や花が輝いているように見えました。

二日目の夜にはホテルの方が花火を打ち上げてくださり大きな花火を見ることが出来ました。三日目の「起き上がり小法師」の絵付け体験では、オリジナルのものを作ることが出来てとても楽しかったです。

林間教育は宿泊を伴う行事のため、沢山の方々によってできた行事なので感謝をしたいと思います。

五寮 Tさん

林間教育では、いろいろなことを学べました。一つ目は人の大切さです。食事を作ってくださりありがたいと思えました。それから植物は大切だと思います。二つ目は仲間の大切さです。今回はみんなのいい所を探せるいい機会になったと思えました。僕は「あんな奴にいい所なんてない」と思う仲間がいました。でも林間教育を経験して僕のいい所も探してもらえたり、みんなのいい所にも気づけました。とてもいい経験をしたと思います。



社会適応講座

「命と人権について学ぶ機会」として、中学三年生と高等部生を対象に、七月二十四日と二十六日に国立ハンセン病資料館を見学しました。

五寮 Nさん

僕は平沢さんのDVDを見てハンセン病の苦しさや、生活の大切さなどを知ることが出来ました。

昔は特效薬もなく生活が大変で、いやでも療養所に入所して大変過酷な生活をしてきたことを知りました。今の日本では絶対にしてはいけないことで、あり得ないことだと思えます。

この資料館の見学を通して人権の大切さ、今の生活のありがたさを改めて感じました。これからは、今あることを大切にして、少しずつでも自分ができるところをしていきたいと思いました。

けやき寮 Oさん

僕は今までハンセン病という病気は知りませんでした。そして今回、資料館で見学した写真や実物等を見て、また何か自分の経験が新たに積みまされたような感じがしました。

ハンセン病にかかってしまった患者の方々への世間や国からの理不尽な行動に、初めは「なぜこのようなことができたのだろうか？」と少し怒りのような気持ちがありました。しかし、現在このようにして、今の僕

達への過去のことがうまく伝えられる状態になり、生活が前よりも楽になったことに安心しました。

そして、普段、僕はいろいろなことに不満を持ちたりしますが、それが小さなことだということを実感しました。



関東少年水泳大会

五寮 Nさん

僕は水泳大会に行きました。もともと水泳が好きだったので、大会に出られると知った時は嬉しかったです。練習では「少しきついな」というときはありましたが毎回休むことなく、一生懸命できました。

当日は、萩山以外の施設の人が多かったので、びっくりしました。僕の順番はお昼前だったので、ベンチに座り他の人の競技を見ていました。すごく速い人がたくさんいて少し不安になりました。

僕の番になりました。一生懸命泳いだら、自分自身の新記録につながりました。

総合福祉講座

「疑似体験を通して、相手の気持ちに寄り添って行動すること」について学ぶ機会として、サマースクール期間に中学一・二年生は目の不自由な方の疑似体験を、中学三年生は車椅子による介助体験を行いました。



六寮 Kさん

車椅子を乗っていて段差をおりるときは、落ちるかと思ってドキドキしました。介助しているときは乗っている人が落ちてしまわないか、不安になり緊張しました。

僕は障害のある方や困っている人がいたら声をかけて誘導をしてあげることが出来ると思います。

三寮 Fさん

目が見えているとできることが、目が見えなくなると、自分がいる場所が分からなくなったりして、歩く場所がわからなかったです。点字ブロックがあつたので便利でした。

僕は困っている方がいたら声をかけて話を聞いたり、障害のある方にごぶつからないように道などでどいたり、障害のある方の気持ちを考えたり行動することがとても大切だと思いました。



「お知らせ」

苦情解決制度第三者委員の御紹介

萩山実務学校では社会福祉法第八十二条に基づいて、三名の方に第三者委員を委嘱しています。
委員の皆様を御紹介します。

○西東京共同法律事務所弁護士
片岡智子様

○児童養護施設福音寮副園長
高橋幸成様

○公認心理師・臨床心理士
小玉昌直様

今年度も、意見や苦情などの解決に御尽力をいただいています。

福祉サービス第三者評価の

受審について

サービスの質の向上を目指して、萩山実務学校では、福祉サービス第三者評価を今年度も受審いたします。調査に当たっては、子供たちにもアンケートなどを行う予定です。評価結果は、とうきょう福祉ナビゲーション（通称：福ナビ）で公表します。御理解・御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

新学期がスタートしました。暦上では既に秋となっていますが、まだまだ厳しい暑さが続いています。

子供たちは夏の間、林間教育等の行事、サマースクール中の活動（学習・クラブ・福祉講座等）を経験しました。

これらの経験をとおり、子供たちは自分の可能性を感じることや、他者に気遣いながら協力することの大切さを、それぞれのペースで学んでいると思います。そのような姿を、この紙面を通して感じていただければ幸いです。



編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理（庶務担当）

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）

